

岡山県総社市 企業版ふるさと納税

寄附を通じて総社流の取組に参画いただける企業を募集中！



「挑戦 岡山の新都心 総社」

～全国屈指の福祉文化先駆都市～

総社市は、岡山県の南西部に位置し、東部は岡山市、南部は倉敷市の2大都市に隣接しています。人口は69,520人(令和8年3月末現在)、総面積は212.01平方kmで、地域の中央を北から南に岡山県の三大河川のひとつ高梁川が貫流しています。年平均気温は16.5℃前後、雨量は年間1000mm前後で、瀬戸内海特有の温暖、少雨の恵まれた気候です。



岡山県総社市

令和8年度 寄附募集事業

● 出産おめでとうギフト事業

令和6年4月1日以降の出生により、総社市の住民基本台帳に記録された赤ちゃんを子育てしている方に、『そうじゃ出産おめでとうギフト』をプレゼントしています。

【出産おめでとうギフトの内容】

- ・そうじゃおむつクーポン(デジタルクーポン)
※1人につき、56,000円分
赤ちゃん用のおむつやおしりふきの購入に使えます。
- ・市指定のごみ袋(20ℓ)100枚
- ・絵本1冊(乳児健診時にお渡しします)
- ・チュッピーデニムトートバッグ1つ



認定事業：住む人にやさしいまちを創る事業

● 総社市保育士支援事業

【総社市保育士支援金】

市内の私立保育所・認定こども園・地域型保育事業所で働く保育士等を支援するため、「総社市保育士支援金」を支給しています。支援金の支給で保育士等の処遇を改善して保育人材の確保を図り、待機児童の解消につなげる狙いがあります。

支給額は、保育士等1人当たり70,000円(年額)です。

【保育士登録制度】

市内園での勤務を希望している保育士と園をマッチングし、保育士と園の双方を支援しています。



認定事業：住む人にやさしいまちを創る事業

● 総社市新生活交通「雪舟くん」事業

交通空白地の解消と高齢者等の移動手段の確保を行うため、予約型で乗合方式の総社市新生活交通「雪舟くん」を運行しています。

移動手段は、私たちが生活するうえで最も重要な要素の一つです。高齢化が進むなか、玄関先までお迎えに伺う便利さと安い利用料金である総社市新生活交通「雪舟くん」は、市内の移動に使える総社市独自の乗り物で、市民のための生活を支える公共交通となっています。



認定事業：住む人にやさしいまちを創る事業

● 障がい者千五百人雇用事業

「障がい者千五百人雇用事業」として、障がい者の雇用促進と生活の質の向上に取り組んでいます。この事業は「ハローワーク総社」と「総社市」が連携し、「福祉から就労へ」を目標に掲げたワンストップの相談窓口等を設置しています。

障がい者の雇用は一人ひとりの特性に合った支援が必要となるため、幅広いジャンルの雇用先を開拓しています。また、日々の生活面でのサポートも行い、障がい者が地域で自立した生活を送ることができるよう、環境を整備しています。



認定事業：働く人にやさしいまちを創る事業

令和8年度 寄附募集事業

●そうじゃ部活動改革応援プロジェクト

学校部活動を地域クラブへ地域展開するため、子どもたちの受け皿となる地域クラブ「そうじゃ地域クラブ」を設立しました。

地域クラブでは、単なる学校部活動の延長ではなく、学校部活動では経験できない専門性の高い指導者による指導や学区を超えた交流など、子どもたちがやりたい活動ができる環境整備を行っていきたいと考えています。

認定事業：学ぶ人にやさしいまちを創る事業



●協定締結大学との共同事業プロジェクト

総社市は、平成19年度から包括連携協定に基づき大学との共同事業を継続して実施しています。行政が抱える課題に対し、大学が持つ専門的・学術的な見地から助言や指導を受けながら、本市と大学が共同して事業を行い解決を図っています。

認定事業：集う人にやさしいまちを創る事業



●地域の課題解決に自由に使える交付金

地域と行政が支え合う地域づくりとして「総社市地域づくり自由枠交付金制度」が平成27年度から全地区で開始しました。

この自由枠交付金は、地域住民で話し合い、地域の事情や特色に合った使い方を決めることができ、地域における環境、防犯、交通安全、防災活動など地域のためになることであれば、何にでも使用可能です。それぞれの地域の事情や特色に合わせ、自立した地域へのステップアップに繋げています。

認定事業：集う人にやさしいまちを創る事業



●総社観光プロジェクト

総社市は、瀬戸内の温暖な気候と豊富な水量を誇る高梁川の恩恵を受け、古くから「吉備の国」の中核として栄えてきました。市内には繁栄の歴史を物語る多くの文化遺産を有し、四季折々の自然が織り成す景観美にも恵まれ近年その特色を活かした催しなどが行われています。

本市の観光は、市民一人ひとりが力を合わせ、地域資源を大切に受け継ぐとともに、新たな魅力を発見しオリジナリティーを創造し、観光客にも市民にも愛されるまちづくりを進め、郷土に誇りを持ち、その魅力を広く伝えていくことが求められています。より質の高い観光の推進に向け、地域一体となった新たな観光振興の推進体制を確立し、吉備文化発祥の地「吉備の国・総社」の魅力を全国に発信していきます。

認定事業：みんながワクワクするまちを創る事業

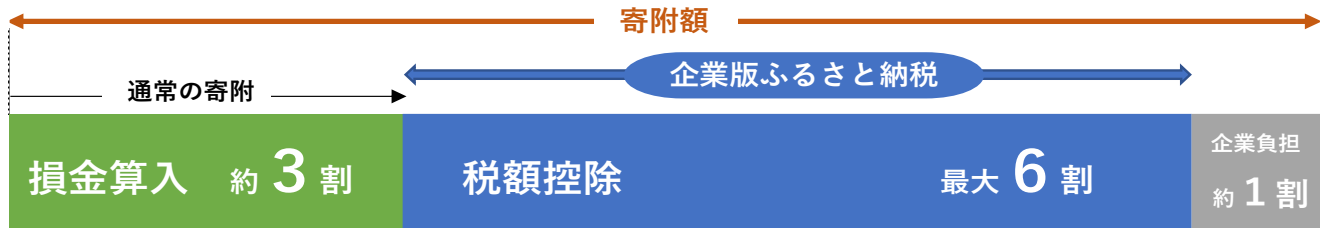


企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税とは、企業が自治体に寄附をすると税負担が軽減される制度のことです。

正式には『地方創生応援税制』といい、自治体の実施する「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に企業が寄附をすると、法人関係税が控除される仕組みです。税額控除の特例措置の適用期間は令和9年度末までです。

税負担の軽減効果が最大約9割に！



例 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減

- ①法人住民税：寄附額の4割を税額控除。（法人住民税法人税割額の20%が上限）
- ②法人税：法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。（法人税額の5%が上限）
- ③法人事業税：寄附額の2割を税額控除。（法人事業税額の20%が上限）

※税額控除の手続（申告）や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

寄附企業メリット

1 社会貢献
企業としてPR効果

2 自治体との新たな
パートナーシップ構築

3 地域資源などを活かした
新事業展開

- 1回当たり10万円以上の寄附が対象となります。
- 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- 本社が市外にある企業が対象となります。

総社市では、将来都市像「挑戦 岡山の新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化先駆都市～」の実現を目指し、寄附を通じて、総社市の取組に参画いただける企業を募集します。

寄附を行っていただいた企業にとっては、**税負担の軽減効果が寄附額の最大約9割（企業負担約1割）**となるとともに、地方創生の取組に貢献するという企業のイメージアップにもつながります。

【お問い合わせ先】

岡山県総社市 総合政策部 ふるさと納税推進課

TEL0866-92-8211

Eメール henreihin@city.soja.okayama.jp

<https://www.city.soja.okayama.jp/>



市ホームページ



企業版ふるさと納税
ページ

